

ピアチェーレ・コンチェルトシリーズ vol.18

Piacere²⁰²⁰ Concert

角谷麻佑子 *Piano*

モーツァルト/ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488

山本駿平 *Piano*

ショスタコーヴィッチ/ピアノ協奏曲 第2番 ヘ長調 Op.102

古宮幹康 *Contrabass*

G.ポツェジーニ/コントラバス協奏曲 第2番 ロ短調

道下真帆 *Piano*

シューマン/ピアノ協奏曲イ短調 Op.54

指揮:松井慶太

管弦楽:セントラル愛知交響楽団

Special Guest

亀井聖矢 *Piano*

チャイコフスキー/ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 Op.23



2020

18:00 開演 (17:30 開場)

5.2

三井住友海上しらかわホール

入場料(全自由) 3,500 円 3歳以下の入場不可

◆プレイガイド◆ しらかわホールチケットセンター: 052-222-7117
愛知芸術文化センタープレイガイド: 052-972-0430

◆お問合せ
チケット取扱◆

チケットはHPから
お申込できます

ピアチェーレ・ムジカ

<http://www.piaceremusica.com/>

090-1090-2488 / 090-3954-9847



◆主催◆ ピアチェーレ・ムジカ
◆後援◆ 愛知県教育委員会・名古屋市教育局
(一社)全日本ピアノ指導者協会
(一社)セントラル愛知交響楽団



角谷麻佑子 Piano

Mayuko Sumiya

6歳よりピアノを始め堀井志保氏に師事。現在、長浦智子、大崎裕美の両氏に師事。
2016年、愛知ピアノコンクールにて金賞。JPTAピアノ・オーディションにて、2018年2019年、地区予選奨励賞。
現在、半田市立亀崎小学校5年在学中。

山本駿平 Piano

Syunpei Yamamoto

第25回島村楽器音楽コンクールピアノペティット部門本選入賞。2014年度ピティナ・ピアノコンペティション地区本選優秀賞。入賞者コンサート第10回「はじめのいっぽ」出演。第4回岐阜ピアノコンクール銅賞。2017年度ピティナコンペティション名古屋地区成績優秀者による「あしながヤングピアニストコンサート」出演。2018年度ピティナピアノコンペティション地区本選奨励賞。第5回なごや青少年ピアノコンクール優秀賞。2019年度ピティナピアノコンペティション地区本選級入賞。
西村麻衣子、朽名恭子の各氏に師事。
現在、東海市立上野中学校1年。



古宮幹康 Contrabass

Mikiyasu Furumiya

7歳よりピアノを始め、12歳よりコントラバスを始める。これまでにコントラバスを榊原利修氏、池松宏氏。ピアノを榊原祐子氏、瀧川紀之氏の各氏に師事。また、セミナー、マスタークラス等で、コントラバスをDetar Kurig、Artem Chirkovに師事、アレクサンダー・テクニークをBasil Kritzerに師事。
第28回日本クラシック音楽コンクール全国大会コントラバス部門第4位(最高位)、第1回中学生・高校生の為のコントラバス・ソロコンテスト中学生の部において金賞、第1回泉の森コントラバスコンクールジュニア部門において2位入賞。2019年12月1stリサイタルを開催。
南山中学校男子部を経て、現在、南山高等学校男子部1年に在籍中。

道下真帆 Piano

Maho Michishita

ヤマハ音楽教室にてピアノを始める。これまでに、大崎裕美、西尾学、杉浦日出夫、廣澤純子、細野真由美の各氏に師事。現在、武田真理、石井理恵、本村久子、奥村真、木米真理恵の各氏に師事。
第31回、第32回愛知ピアノコンクール金賞。第16回、第17回大阪国際音楽コンクールファイナル入選。第12回ペーテン音楽コンクール第4位。第11回愛知県立明和高等学校サマーコンサート出演。
ヘンリ・シーグフリードソン教授、アレクサンダー・リュスラー教授、マルコ・ファティケンティ教授、ヤコフ・ロイシュナー教授による特別マスタークラス受講。MusicAlp 夏期国際音楽アカデミーにてフェルナンド・ロッサーノ教授に師事。
愛知県立明和高等学校を経て、現在 東京音楽大学ピアノ演奏家コース1年在学中。



亀井聖矢 Piano

Masaya Kamei

2001年生まれ。4歳よりピアノを始める。
第88回日本音楽コンクールピアノ部門第1位及び岩谷賞(聴衆賞)、増沢賞、野村賞、井口賞、河合賞、三宅賞、アルグリッチ芸術振興財団賞、第43回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ及び聴衆賞、文部科学大臣賞、スタインウェイ賞、第17回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 中学生部門アジア大会金賞及びソリスト賞、第71回全日本学生音楽コンクール全国大会ピアノ部門高校の部第1位及び横浜市民賞(聴衆賞)、野村賞、井口愛子賞、日本放送協会賞、かんぼ生命奨励賞、第9回福田靖子賞、第6回アリオン桐朋音楽賞 他受賞。
これまでに青木真由子氏、杉浦日出夫氏、現在、上野久子氏、岡本美智子氏、長谷正一氏に師事。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、飛び入学特待生として桐朋学園大学に入学。現在桐朋学園大学1年在学中。

松井慶太 Conductor

Keita Matsui



84年、青森県生まれ。3歳よりピアノ、15歳よりオーボエを学ぶ。16歳の時、ピアニストとしてポーランド国立クラクフ交響楽団と共演。06年、韓国で行われたアジア・フィルハーモニー管弦楽団に参加し、指揮をジョン・ミュンフンに師事。07年、東京音楽大学指揮科卒業。これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、ピアノを島田玲子、宮原節子、オーボエを安原理喜、音楽理論を久田典子の各氏に師事。第15回「東京国際音楽コンクール」<指揮>入賞、奨励賞。また、ハンガリーのブダペストにてドナウ交響楽団を、チェコのプラハにてプラハ交響楽団室内オーケストラを指揮し好評を博す。国内では東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪交響楽団、九州交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、山形交響楽団等を指揮。08~14年には、NHK交響楽団定期演奏会(シャルル・デュワ指揮「ストラヴィンスキー『エディプス王』」、ヤナーチェク「グラゴル・ミサ曲」、ブリテン「戦争レクイエム」、マーラー『千人の交響曲』)、ファビオ・ルイージ指揮「オルフ「カトゥーリ・カルミナ」」「カルミナ・ブラーナ」等、東京混声合唱団)の合唱指揮者として公演を成功に導いた。11年、東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスに就任。同楽団とは「水のいのち」fontec/EFOD-4178、「クリスマス合唱名曲集」Octavia Records/OVCL00478、「日本の合唱名曲セレクション 20」FOCD-9687/8等をリリースしている。

セントラル愛知交響楽団 Orchestra

Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市の事業補助を受け1997年に現名称に改名の後、2009年4月一般社団法人となる。2019年4月、5年間にわたり音楽監督を務めたレオシュ・スワロフスキーは名誉音楽監督に、新たに常任指揮者として名古屋出身の俊英 角田鋼亮が就任。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評を博す。また2015年半田市と音楽文化振興の協定を締結し、以降さまざまな事業を展開。2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。海外では2007年中国内蒙古自治区、2009年タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)、2017年韓国・釜山(釜山マル国際音楽祭)で公演し成功を収める。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」受賞。

Profile は 2020 年 1 月 現在のものです